

## (様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

諸井義人

開催月日	令和5年7月4日(火)		
開催時間	13:00~14:35		
開催場所	木更津市・陸上自衛隊木更津駐屯地		
主催者	防衛省 地方協力局西日本協力課		
研修会等の名称	V-22(オスプレイ)地上研修及び航空機研修(CH47等)		
講師等の氏名等	第一ヘリコプター団長 陸将補 廣瀬敏彦氏 他担当官		
内容・結果等	<p>目的:佐賀空港への自衛隊輸送機オスプレイ配備計画が決定したことを踏まえ、相浦駐屯地や小村駐屯地に近い陸上自衛隊大野原演習場の一角を持つ嬉野市として飛行ルートや演習で使用される可能性やオスプレイ他機体についても知見を広げる必要がある。</p> <p>内容:木更津駐屯地は敷地面積210万平方メートル(東京ドーム役45個分)現在約1000名を超える隊員が駐屯各部隊に所属し、第一ヘリコプター団をはじめとした部隊の航空機役70機が所在する駐屯地である。</p> <p>V-22(オスプレイ)は、乗員3名+搭乗者24名で巡航速度は時速465km、航続距離約2600km、水陸機動団の輸送に重要な役割を担い、災害救援や急患輸送でも能力を発揮している。</p> <p>CH-47は、乗員3名+搭乗者55名の大型輸送機。機内に高機動車両を搭載して空輸も可能。また、最大55名の空輸能力は災害派遣時や救助活動でも強みになっている。</p> <p>EC-225LPは乗員2名+搭乗者20名で巡航速度280kmである。要人輸送ヘリで天皇陛下や総理大臣、国賓等の輸送に使われる。その他、第一ヘリコプター団に配属の機種説明を受けた。</p> <p>感想:佐賀空港へ配備予定の輸送機オスプレイを見て、乗ってみて性能や機能的な装備を体感した。機動性と能力の高さなどの説明を受け、日本の国防に大きく貢献している事実と機種への知見を広げることが出来た。佐賀空港においても工事を早期に完了し、国防に寄与できるように望む。また、漁協等関係者の複雑な思いも理解する必要がある。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費・宿泊費	有徳旅行株式会社(宿泊パック) (長崎空港—羽田空港)	60,930
	旅費(東京⇒木更津駅)	高速バス、JR他	] 6,110
	木更津駅⇒品川⇒新橋	"	
	新橋⇒防衛省⇒羽田空港	JR他	
合計		67,040	

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

諸井義人

実施月日	令和5年7月5日(水)		
実施時間	10:00~11:00		
調査先	防衛省 防衛装備庁会議室		
調査所在	東京都新宿区市谷本村町5-1		
調査の目的	嬉野市議会防衛議員連盟と防衛省との意見交換		
調査先担当者	防衛省 防衛計画課長 伊藤伸哉氏 運用調整参事官 菊池哲史氏 施設計画課他		
内容・結果等	<p>目的:防衛省本館にて、意見交換と質問等を行い、冒頭、防衛省大臣官房審議官 北尾昌也氏より歓迎の挨拶を頂いた。</p> <p>(1)佐賀空港配備に係る現状(伊東防衛計画課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しさが増す我が国の防衛体制の現状について・・・我が国は、戦後最も厳しく複雑な安全保障関係に直面している。中国、北朝鮮、ロシアが軍事力を増強しつつ軍事活動を活発化する中、我が国はその最前線に位置している。</li> <li>・オスプレイが佐賀空港に配備される目的や重要性とは・・・V-22は早い巡航速度と長い航続距離を有するとともに、高高度を飛行可能で我が国の島嶼防衛能力を強化するうえで不可欠な装備品である。また、その高い能力を活用することにより、災害活動や離島における急患輸送にも極めて有益である。</li> </ul> <p>(2)配備後の大野原演習場の利用の有無と飛行ルートについて(菊池運用調整参事官)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大野原演習場は有益な演習場であるが、九州の他の演習場もあることから今後調整が必要になる。</li> </ul> <p>感想:抑止力となる防衛力の強化充実が、我が国が直面している現状を外交的にも有意義であるということを理解した。佐賀空港への配備に伴い、700~800人が配属されることで周辺地域の活性化にもつながるといえる。ただ、1機あたり200億円ともいわれているオスプレイの安全飛行や十分な隊員の教育が求められる。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	合計		